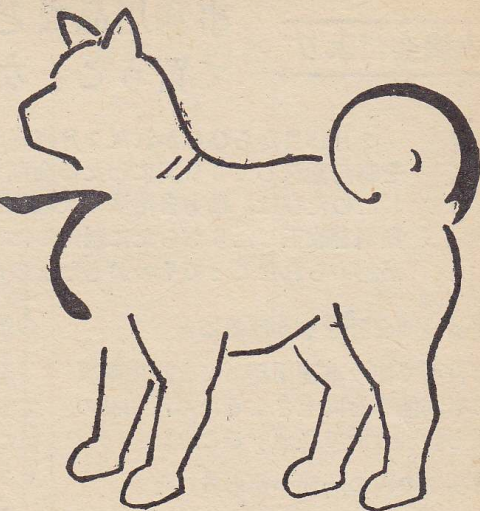


広報

おおだて



3月号

編集と発行
大館市役所

県道

小坂線はあと5年で完成

長木地区の移動県庁で知事があきらかに

みなさまの県庁が、行政の民主化をはかるため、できるだけ多くの県民の要望をとり入れて県政に反映させようと、県内各地で「移動県庁」をおこなっております。

いままでは、知事と直接話合う機会の比較的少なかった町村部をおもに開催してきましたが、2月21日、近郊の農村地帯として、また、地下資源の開発や長木沢国有林野の在所として数多くの問題をへかえている長木地区で、都市部では初めての「移動県庁」がひらかれました。

会場の長木公民館には約100人の地区民がつめかけ、当面の問題について、知事や部課長と話合いましたが、おもな問題点は次のとおりです。

◇道路問題

もっとも要望が強かったのは、県道小坂線の道路整備の問題で、これについて県では、残された道路は5.9キロメートルで2億4000万円の工事費がかかるが、これを5年計画で完成させるため、今年はず、大茂内橋、雪沢橋を完成させる。この工事を予定どおり完成させるため、路線の決定やつぶれ地の補償について、地元が協力されるよう要望がありました。

◇農業問題

秋田県の主産業である米の品種改良と機械化をはかり、その中に、畜産、林業をかね合せて山村の農業改善を指導するまた、機械化農業で共同作業を進めるため、土地改良事業は必要であるが、この事業に対する国の補助率3割を5割にするについて国へ要請するとともに、5町歩未満のものについても4割を補助したい。

◇酪農と食生活の改善

酪農経営合理化の指導を強化し、農家の食生活を改善して成人病の予防にもつとめ、また、学校給食で生牛乳をのませるなど、父兄の負担を軽くして給食を充実させ、子どものときからよい食生活の習慣をつくる。

◇医療機関

診療所の設置は、人口密度や地理的にも困難であるから、公立大館病院の週3回程度の出張診療について関係者と話し合い実現させたい。

◇国有林野の解放

牧野組合に払下げた国有林が、共同の目的に使用されないで固有化の傾向にあるのは好ましくない。これからは、部落

の近くは牧草地として、また、遠い所は林野として解放するよう営林局と話し合いを進める。

◇開拓地への援助

入殖者の中には、入殖前の借金で苦勞している人が多く見受けられるので、県が安い金利で金を融資し、借金を肩がわりして立ちなおらせたい。

最後に、知事が、職員一同「小さな親切大きな奉仕」をモットーとして県民に奉仕したい旨あいさつされましたが、大館市民が、県政について直接知事と話し合いのできるはじめての機会に、知事はじめ各部課長から納得のゆく答弁が求められ好評のうちに閉会しました。

写真は長木地区での移動県庁

